

ベスト8決定
あす準々決勝

23日は両球場で準々決勝4試合を行う。

あすの試合

一進一退…9回勝ち越し



【会津北嶺一二本松実】9回表、会津北嶺2死一、三塁、井ノ川が中堅に勝ち越し適時打を放ち、塁上でガッツポーズ

「ここで打たなきゃ負けると思った」

会津北嶺は一進一退の攻防の末、秋季県大会2年ぶりの8強に進んだ。九回2死一、三塁から勝ち越し打を放った井ノ川陽太は「ここで打たなきゃ、負けると思った」とバットでの貢献に安堵（あんこ）した。

先発水村劉之介、2番手黒

井ノ川、一撃

木翔太の両投手を捕手として支える一方、七回までの4打席は力みから、全て外野への飛球に倒れていた。九回の第5打席は緊張と疲労の中で迎えたが、勝負どころと気合を入れ直し、真ん中に入ったスライダーを中堅に運んだ。

直後の守りには、夏の福島

大会と回戦・東日大昌平戦でバッテリーを組み、勝利した関根恒喜と臨んだ。互いへの信頼感を自信に変え、無安打で抑えて熱戦に終止符を打った。

準々決勝は、夏の準決勝で1点差で競り勝った宇法石川と当たる。井ノ川は「厳しい相手だが、仲間全員で気持ちを高めて戦う」と闘志を燃やした。

▶二本松実・遠藤昊風（2
安打を含め、全4打席で出塁）
粘る気持ちが一步及ばなかつ
た。団結力を高め、劣勢を立
て直せるチームづくりに主将
として努める。

[illegible][illegible]